

記事を読んで考えてみよう

年 組 名 前

- ①ぐるぐると回りながらのぼる階段のことを何といいますか。
- a ストレート階段
  - b らせん階段
  - c 非常階段

- ②この写真の階段は、あるお城の中にあります。どのお城でしょう。
- a 姫路城
  - b 松本城
  - c 名古屋城

- ③この階段をのぼると、お城のどこに続いているでしょう。
- a 天守閣
  - b 金のしゃちほこ
  - c 石垣

小学校中学年以上  
新聞の写真をもとに、見慣れた景色を違った角度から見てみよう。

監修 野田恵美先生  
(愛知県尾張旭市旭丘小学校)

「わーわー」の音で、A4サイズに切り取って、4枚を並べて見ると、お城の姿が違って見えます。

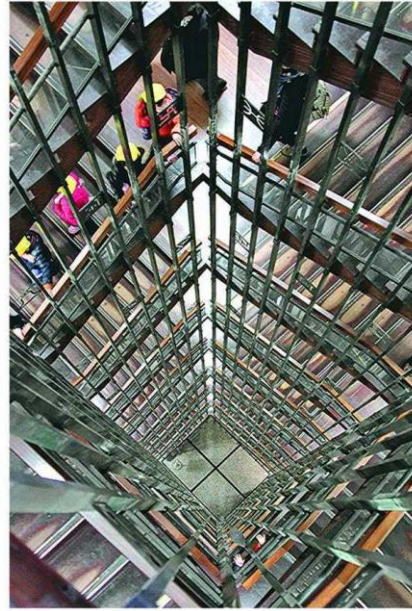
4月は出会いの季節です。新しいクラスや先生になって、見慣れた教室が普段と違って見える人もいるでしょう。いつもと同じ教室でも、見る角度や方向を変えると、新しい発見がありますよ。

# 同じ眺め 違う角度で 見てみると...

新聞ワークショップ

参考の記事

最上階からのぞくと、延々と続くらせん階段が目が回ってしまいう。落ち着いた色合いに角張った形状は重厚な雰囲気をおぼせる。こは、名古屋城の天守閣に焼けた長い長いらせん階段だ。一九四五年五月の名古屋空襲で焼失した古屋敷の天守閣は、五年後に再建された。らせん階段はその際に造られ、人どすれ違ふことがないよう上下りが分けられている。それが特徴。らせん階段の内側は転落防止用の柵で囲まれている。石垣の刻印からデザインされたという、ひょうたんや扇などの模様の飾りが所々にある。柵の間隔からは小さな手足や頭がのぞきよる。出たり引っ込んだり。「怖い、高いね」。小学生たちははしゃぐ声か響いてきた。天守閣へはエレベーターでも昇ることができても、汗をかいてもらせん階段で登ればお城の大きさを感じられる。なびき着いた天守閣展望台からの眺めも、きつめの素晴らしい道



掲載 4月2日付朝刊名古屋市民版

発展問題にチャレンジ

- ①この階段の特徴は次のうちどれでしょう。
- a デザインを重視するため、転落を防ぐ柵がない。
  - b 長い階段なのでエスカレーターになっている。
  - c 人とすれ違ふことがないように上り下りが分けられている。

- ②この階段の柵にはひょうたんや扇などの模様の飾りがついています。どうしてそのデザインになったのでしょうか。
- a 城主がひょうたん好きだったから。
  - b この城の石垣の刻印からデザインしたから。
  - c この城が焼けたとき、扇とひょうたんだけが焼け残ったから。
- ③みなさんの身の回りの物を、いつもと違う角度から見てください。

発展問題①は答えを導き出さず、その観察眼を見てください。